

## AIWEST-DR 2023 : インクルーシブ防災のスペシャルセッションを主催しました (2023/10/12)

テーマ : インド洋大津波、2011 年東日本大震災、防災全般  
会場 : Gadjah Mada 大学 Faculty of Psychology、オンライン  
URL : <https://aiwestdr.psikologi.ugm.ac.id/>

第 15 回 Aceh International Workshop and Expo on Sustainable Tsunami Disaster Recovery (AIWEST-DR 2023) が 2023 年 10 月 11~13 日にインドネシア・ジョグジャカルタで開催されました。当研究所栗山進一所長・教授(災害公衆衛生学分野)が基調講演を行うなど、小野裕一副所長・教授(2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)を含む当研究所の教員、研究員、博士学生 15 名が現地参加しました。

2023 年 10 月 12 日には、当研究所が主催するスペシャルセッションを開催しました(企画: ポレー・セバスチャン准教授、司会: マリ・エリザベス准教授(いずれも国際研究推進オフィス))。タイトルは「Leaving No One Behind: Disasters, Vulnerability, and Social Inclusion in Japan, Indonesia, and Their Partners (誰一人取り残さない: 日本、インドネシア、および協力国における災害インクルージョン)」で、インクルーシブ防災について、主に障がい者の方々の防災について取り上げました。

本セッションでは、医療的ケアが必要な高橋桃子さんと介護に携わるお母様の高橋実和子さんにご登壇頂き、東日本大震災のご自身の経験についてご発表頂きました。たとえば、災害時に孤立してしまい、食料や水などの物資を受け取りに行くことができないなど、高橋さん親子の実体験から得られた具体的かつ貴重な情報が共有され、障がいのある方々への理解と災害への備えに関する知識が一層深まりました。そして、障がい者の方々が災害時に困難な状況に陥りやすいために、災害の予防、対応、復旧の各段階において障害者の方々へ特別な配慮を行うことが「誰一人取り残さない」防災の実現に向けた重要なステップであることが議論され、インドネシアの障がい者の方々との間で、災害時の経験が共有されました。さらに北村美和子特任研究員: 助教(国際研究推進オフィス)、ポレー准教授、朴慧晶助教(災害医療情報学分野)、齋藤玲助教(認知科学研究分野)、ゲルスタ・ユリア助教(災害文化アーカイブ研究分野)、ヌイン・デビッド特任准教授(津波工学研究分野)、ASB Indonesia and the Philippines, DiDRRN の代表者たちからも、インクルーシブ防災に関して多岐にわたる話題提供を行いました。

高橋さん親子とインドネシアの障がい者の方々との間では、インドネシアにおける障がいを持つ子どもと母親の状況に関して意見交換の場が持たれ、障がい者同士のアートを通じた交流も行われました。そのなかでは、障がい者の介護を行う母親が直面する睡眠不足や孤独感についての話がされるなど、日本とインドネシアでも共通した介護に関わる家族や女性の役割の課題が浮かび上がりました。これらの貴重な交流を通じて、国際的な視点から障がい者の方々の課題に新たな洞察が得られ、今後の災害研究と医療的ケアが必要な障がい者の方々との連携プロジェクトへの可能性が広がりました。

文責・写真撮影: 北村美和子(国際研究推進オフィス)  
朴 慧晶(災害医療情報学分野)  
原 裕太(2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)  
ポレー・セバスチャン(国際研究推進オフィス)  
マリ・エリザベス(国際研究推進オフィス)  
小野裕一(2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)  
栗山進一(IRIDeS 所長、災害公衆衛生学分野)  
(次頁へつづく)



スペシャルセッションで東日本大震災の体験談  
を話す高橋さん親子の様子



インドネシアの医療的ケア児の方と  
ご家族との交流



インドネシアの障害者の方々と災害の体験談を  
共有し意見交換する様子



インドネシアの医療的ケア児の方と  
ご家族の方々とのアートを通じた交流